

春を告げる

「洞爺湖マラソン2007」繰り広げる



4、460人の参加 全国から健脚集合

洞爺湖の春を走る「洞爺湖マラソン2007」(主催洞爺湖町、壮瞥町、室蘭地方陸上競技協会、北海道新聞社など)が、5月20日洞爺湖畔コースで開かれました。

今年の参加者は、4、460人で、昨年より294人上回り、道外では東京、神奈川、大阪、沖縄など、都府県から健脚が集いました。

当日は、前夜からの雨はあがりましたが、強風と肌寒さの中、選手達は、親子2km、マラソン10km、5kmのそれぞれのコースにさっそうとかけ抜けていきました。

今年の最高齢の参加者は、男子が5km参加の相馬正四さん(室蘭バームスRC)91歳。女子は同じく松本あい子さん(名寄走ろう会)74歳です。

マラソンの男子総合1位には、2時間31分32秒で篠原充さん(テレビ東京)が初勝利。女子は、2時間53分02秒で、太田尚子さん(作・A.C)が優勝し、7連覇を達成しました。

篠原さんは「4連覇中の平沢さんが出場しなかつたので、チャンスがあるかなと思ひ、走り続けました」と喜びを語っています。

沿道では、虻田高生、洞爺高生、地域住民が、給水のボランティアを行いながら、ランナー一人ひとりに激励の声援を送り大会を盛り上げていました。



湖畔を駆け抜けるランナー

また会場内では、地元商工会やウイメンズネットワーク、あぶた福祉会などが出店を出し、地場の物産販売を行い、賑わいをみせていました。

午後からは、各種コースの表彰式を開催。その合間に虻田もちつき会によるもちつき囃子が披露され、景品付のもちまきに会場は大いに沸きました。



総合優勝した篠原充さんと太田尚子さん



心地よい汗をかいて走る



応援の声も湖畔に響く



親子仲よく手をつないで走る